

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 2003-128083

(43)Date of publication of application : 08.05.2003

(51)Int.Cl.

B65D 30/16

(21)Application number : 2001-320670

(71)Applicant : FUJI SEAL INC

(22)Date of filing : 18.10.2001

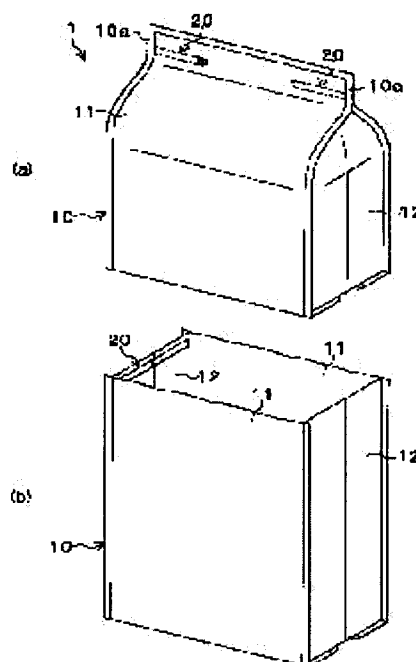
(72)Inventor : FUKUDA MASAHISA
TAKEO KAORU

(54) POUCH-LIKE CONTAINER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a pouch-like container the opening of which is able to be kept in an open state and which has side gasket portions.

SOLUTION: The pouch-like container comprises a body 10 consisting of a front and a rear outer sheets 11, and gasket sheets 12 which are folded to the inside from both ends of the outer sheets 11 to form the side gasket portions of the container, and form keeping members 20 heat-adhered on the inner surfaces of the gasket sheets 11 near the opening of the body 10. Each of the form keeping members 20 comprises a pair of reclosable resin frames, connected with each other through a resin hinge, which are heat-adhered on the upper part of the inner surface of the gasket sheet 12 so that the resin hinge is disposed on the folding line of the gasket sheet 12. One of the resin frames is provided with an extending thin piece having a bump on each side of it, and the other resin frame has a recess into which the extending thin piece is put and which has a dip, on each side of it, engaging with the bump.



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号
特開2003-128083
(P2003-128083A)

(43)公開日 平成15年5月8日(2003.5.8)

(51)Int.Cl.⁷

識別記号

F I

テーマコード(参考)

B 6 5 D 30/16

B 6 5 D 30/16

F 3 E 0 6 4

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 7 頁)

(21)出願番号 特願2001-320670(P2001-320670)

(22)出願日 平成13年10月18日(2001.10.18)

(71)出願人 000238005

株式会社フジシール

大阪府大阪市鶴見区今津北5丁目3番18号

(72)発明者 福田 真久

大阪市鶴見区今津北5丁目3番18号 株式
会社フジシール内

(72)発明者 竹尾 薫

大阪市鶴見区今津北5丁目3番18号 株式
会社フジシール内

(74)代理人 100104640

弁理士 西村 陽一

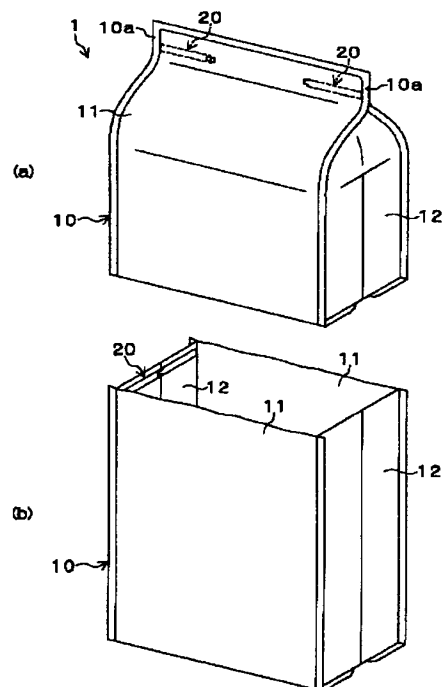
Fターム(参考) 3E064 AA13 EA30 HU10

(54)【発明の名称】 パウチ容器

(57)【要約】

【課題】口部を開口状態に保持することができる、サイドガセット部を有するパウチ容器を提供する。

【解決手段】表裏一対の外装シート11及び両外装シート11の両側部から内側に折り込まれてサイドガセット部を形成するガセットシート12からなる袋本体10と、この袋本体10の口部におけるガセットシート12の内面に熱溶着された形状保持部材20とから構成されている。形状保持部材20は、樹脂ヒンジを介して相互に連設された開閉可能な一対の樹脂フレームを備えており、樹脂ヒンジ部分がガセットシート12の折込縁に位置するように、一対の樹脂フレームの内面が、ガセットシート12の上部内面に熱溶着されている。一方の樹脂フレームには、両側面に突起を有する薄肉の張出片が連設されていると共に、他方の樹脂フレームには、張出片が嵌り込む凹部が形成されており、凹部は突起に係合する窪み部を有している。



【特許請求の範囲】

【請求項 1】 サイドガセット部を有する袋本体と、前記袋本体の口部における前記サイドガセット部の上縁部分に固着される塑性変形可能な線状または帯状の形状保持部材とを備えたパウチ容器。

【請求項 2】 サイドガセット部を有する袋本体と、前記袋本体の口部における前記サイドガセット部の上縁部分に固着される形状保持部材とを備え、前記形状保持部材は、前記サイドガセット部の折込縁に対応する部分を支点に開閉する樹脂フレームと、前記樹脂フレームを、開状態に保持すると共にその開状態を解除可能な保持機構とを有しているパウチ容器。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】この発明は、袋本体がサイドガセット部を有するパウチ容器、特に、袋本体の口部を開口状態に保持することができるパウチ容器に関する。

【0002】

【従来の技術】種々の商品を収容する包装容器としては、内面が熱接着性を有する合成樹脂フィルム等のフレキシブルシートによって袋状に形成されたパウチ容器があり、特に、ある程度の容積を有する粉状体や粒状体等の商品を収容する包装容器としては、サイドガセット部を有するパウチ容器が一般的に使用されている。

【0003】こういったサイドガセット部を有するパウチ容器は、図 9 に示すように、表裏一対の外装シート 51 と、両外装シート 51 の両側部から内側に折り込まれてサイドガセット部を形成する左右一対のガセットシート 52 とから構成されており、ガセットシート 52 の周縁部が外装シート 51 にヒートシールされると共に外装シート 51 の上縁部及び下縁部が相互にヒートシールされることで、袋状に形成されている。

【0004】従って、こういったサイドガセット部を有するパウチ容器 50 では、図 10 に示すように、上縁のヒートシール部分の下側で外装シート 51 及びガセットシート 52 を破断することによって開封した後、図 11 に示すように、ガセットシート 52 の折込縁を広げることによって口部を大きく開口した状態で、収容された内容物を取り出すことができるようになっている。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】ところで、こういったパウチ容器 50 における口部に相当する部分は、上述したように、ガセットシート 52 が扁平に折り畳まれた状態でヒートシールされているため、外装シート 51 及びガセットシート 52 を破断することによって口部を形成した後、ガセットシート 52 を広げて口部を開口したとしても、ガセットシート 52 がすぐに元の折り畳まれた状態に戻ってしまうので、口部を大きく開口した状態に保持することが難しいという問題がある。

【0006】特に、内容物がたくさん入っている状態で

は、収容された内容物によってガセットシート 52 の上部側もある程度広げられるので、開口した口部が極端に閉じてしまうことはないが、収容された内容物が少なくなってくると、折り癖の付いているガセットシート 52 の上部側が元の折り畳まれた状態に戻ってしまい、内容物を取り出す度毎に口部を大きく開口しなければならず、使い勝手が悪いといった問題がある。

【0007】そこで、この発明の課題は、口部を開口状態に保持することができる、サイドガセット部を有するパウチ容器を提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段及びその効果】上記の課題を解決するため、請求項 1 にかかる発明は、サイドガセット部を有する袋本体と、前記袋本体の口部における前記サイドガセット部の上縁部分に固着される塑性変形可能な線状または帯状の形状保持部材とを備えたパウチ容器を提供するものである。

【0009】以上のように、このパウチ容器は、袋本体の口部におけるサイドガセット部の上縁部分に塑性変形可能な線状または帯状の形状保持部材が固着されているので、袋本体の口部におけるサイドガセット部の上縁部分を広げて口部を開口すると、サイドガセット部の上縁部分に固着されている形状保持部材が塑性変形を起こしてサイドガセット部が広がった状態に保持され、袋本体の口部が自然に元の扁平状態に戻ることがない。従って、袋本体に収容された内容物を連続的に取り出すような場合、内容物を取り出す度毎に袋本体の口部をその都度開口させる必要がなく、使い勝手が向上する。

【0010】また、袋本体の口部におけるサイドガセット部の上縁部分を折り畳むと、形状保持部材によってサイドガセット部の上縁部分がその状態に保持され、一旦開封した袋本体の口部を略閉塞した状態に保持することができる。

【0011】また、上記の課題を解決するため、請求項 2 にかかる発明は、サイドガセット部を有する袋本体と、前記袋本体の口部における前記サイドガセット部の上縁部分に固着される形状保持部材とを備え、前記形状保持部材は、前記サイドガセット部の折込縁に対応する部分を支点に開閉する樹脂フレームと、前記樹脂フレームを、開状態に保持すると共にその開状態を解除可能な保持機構とを有しているパウチ容器を提供するものである。

【0012】以上のように、このパウチ容器は、袋本体の口部におけるサイドガセット部の上縁部分に固着される形状保持部材を、サイドガセット部の折込縁に対応する部分を支点に開閉する樹脂フレームと、この樹脂フレームを開状態に保持すると共にその開状態を解除可能な保持機構とによって形成したため、袋本体の口部におけるサイドガセット部を広げると、それに伴ってサイドガセット部に固着されている樹脂フレームも開くので、保

持機構によって樹脂フレームの開状態を保持すると、袋本体の口部が大きく開口した状態に保持され、袋本体の口部が自然に元の扁平状態に戻ることがない。従って、袋本体に収容された内容物を連続的に取り出すような場合、内容物を取り出す度毎に袋本体の口部をその都度開口させる必要がなく、使い勝手が向上する。

【0013】また、保持機構による樹脂フレームの開状態の保持を解除すると、サイドガセット部の上縁部分を元の扁平状態に折り畳むことができるので、これによって、袋本体の口部を容易に閉じることができる。

【0014】

【発明の実施の形態】以下、実施の形態について図面を参照して説明する。図1(a)、(b)に示すように、このパウチ容器1は、ポリエチレンやポリプロピレン等の熱接着性を有する合成樹脂フィルムの外面に、ポリエステルフィルム等の単層フィルムやアルミホイル等のガスバリア性シート等を積層した複層フィルム等をラミネートしたフレキシブルシートによって形成された、サイドガセット部を有する袋本体10と、この袋本体10の口部における左右のサイドガセット部の内面にそれぞれ熱溶着された、前記フレキシブルシートの内面と熱接着可能な樹脂によって形成された形状保持部材20とから構成されている。

【0015】前記袋本体10は、図2(a)、(b)に示すように、表裏一対の外装シート11及び両外装シート11の両側部から内側にそれぞれ折り込まれて左右のサイドガセット部を形成するガセットシート12から構成されており、同図(b)に交斜線で示すように、折り込まれたガセットシート12の内面の周縁が外装シート11の内面にヒートシールされると共に、外装シート11の内面の上縁部及び両側縁部が相互にヒートシールされることで、袋状に形成されている。なお、内面側が外装シート11にヒートシールされたガセットシート12は、その外面側における上部両側縁が相互に固着されており、ガセットシート12の上部が折り畳まれた状態に保持されるようになっている。

【0016】前記外装シート11及びガセットシート12を形成しているフレキシブルシートは、横方向(袋本体10の周方向)に易破断性を有しており、上縁のヒートシール部分にかからないように、袋本体10の上部両側縁に形成された切込10aから、袋本体10の上端部を破断することによって、このパウチ容器1を開封することができるようになっている。

【0017】前記形状保持部材20は、ガセットシート12の内面を形成しているポリエチレン系樹脂やポリプロピレン系樹脂等と同じ種類の樹脂によって形成され、図3(a)、(b)及び図4(a)、(b)に示すように、樹脂ヒンジ25を介して相互に連設された開閉可能な一対の樹脂フレーム21、23を備えており、図1及び図2に示すように、樹脂ヒンジ25部分が、ガセット

シート12の折込縁に位置するように、一対の樹脂フレーム21、23の内面が、ガセットシート12の内面に熱溶着されている。

【0018】また、図5(a)、(b)～図7(a)、(b)に示すように、一方の樹脂フレーム21には、樹脂ヒンジ25側の端部における幅方向の中央部が他方の樹脂フレーム23側に張り出した薄肉の張出片22が連設されていると共に、他方の樹脂フレーム23には、樹脂ヒンジ25側の端部における幅方向の中央部に、樹脂フレーム21に連設された張出片22が嵌り込む凹部24が形成されている。

【0019】一方の樹脂フレーム21に連設された張出片22の幅方向の両側面には、僅かに外側に突出する突起22aがそれぞれ形成されており、他方の樹脂フレーム23に形成された凹部24には、張出片22が嵌り込んだときに、その突起22aに係合する窪み部24aがそれぞれ形成されている。なお、突起22aは、その突出量が小さいので、双方の樹脂フレーム21、23にある程度の力を加えることによって、突起22aを窪み部24aに簡単に係合させることができ、また、窪み部24aに係合した突起22aを窪み部24aから簡単に外すことができるようになっている。

【0020】以上のように構成されたパウチ容器1は、開封前の密封状態では、図1(a)に示すように、ガセットシート12の上部が内側に折り畳まれた状態となっているので、ガセットシート12の上部に熱溶着されている形状保持部材20も、その一対の樹脂フレーム21、23が樹脂ヒンジ25部分で折り畳まれた状態となっている。

【0021】このパウチ容器1に収容された内容物を取り出す場合は、密封された袋本体10の上縁部分を切込10aから破断することによって袋本体10を開封した後、折り畳まれているガセットシート12の上縁を開くと、これに伴って、ガセットシート12の内面に熱溶着されている形状保持部材20も開き、上述したように、一方の樹脂フレーム21に連設された張出片22が、他方の樹脂フレーム23に形成された凹部24に嵌り込むと同時に、張出片22に形成された突起22aが凹部24に形成された窪み部24aに係合し、形状保持部材20が開状態に保持される。これによって、図1(b)及び図8(a)に示すように、袋本体10の口部が大きく開口した状態に保持されるので、袋本体10に収容されている内容物を容易に取り出すことができる。

【0022】また、必要な内容物を取り出した後に、袋本体10内に内容物が残っている場合は、図8(b)に示すように、形状保持部材20を閉じることによって、サイドガセット部の上縁部分を元の扁平状態に折り畳むことができるので、袋本体10の口部を容易に閉じることができる。

【0023】以上のように、このパウチ容器1は、袋本

体 10 の口部におけるガセットシート 12 の上縁部分に熱溶着した形状保持部材 20 によって、ガセットシート 12 の上部を開いた状態に保持するようにしたので、従来のパウチ容器のように、袋本体 10 の口部が自然に元の扁平状態に戻ることがない。従って、袋本体 10 に收容された内容物を連続的に取り出すような場合、内容物を取り出す度毎に袋本体 10 の口部をその都度開口させる必要がなく、使い勝手が向上する。

【0024】また、このパウチ容器 1 は、開封した袋本体 10 の口部を形状保持部材 20 によって開口状態に保持することができるので、例えば、このパウチ容器 1 を、洗濯用の粉末洗剤等の詰め替え容器として使用する場合は、最初に購入した粉末洗剤の收容ケース（箱）内に、口部を開口した状態のパウチ容器 1 をそのまま收容すればよく、このパウチ容器 1 から内容物である粉末洗剤をケース内に直接移し替える必要がないので、こういった粉末洗剤等の詰め替え容器として使用する場合に、特に、適している。

【0025】なお、上述した実施形態では、一方の樹脂フレーム 21 の張出片 22 に形成された突起 22a を、他方の樹脂フレーム 23 の凹部 24 に形成された窪み部 24a に係合させることによって、樹脂フレーム 21、23 からなる形状保持部材 20 を開状態に保持するようにしているが、これに限定されるものではなく、樹脂フレーム 21、23 を、開状態に保持すると共にその開状態を解除することができるのであれば、種々の保持機構を採用することができる。

【0026】また、上述した実施形態では、開閉可能な一対の樹脂フレーム 21、23 を備えた形状保持部材 20 を、袋本体 10 を構成しているガセットシート 12 の上部内面に熱溶着するようにしているが、これに限定されるものではなく、例えば、特定の樹脂材料や金属材料によって形成された塑性変形可能な線状または帯状の形状保持部材を、ガセットシート 12 の上部に固着しておくことも可能であり、そのような形状保持部材を使用した場合は、開封した袋本体 10 の口部を開口状態に保持することができるだけでなく、形状保持部材を折り畳むことによってガセットシート 12 の上部を折り畳んだ状態にも保持することができるので、上述した形状保持部材 20 を使用する場合に比べて、袋本体 10 における口部の閉塞性を高めることができる。

【0027】また、塑性変形可能な形状保持部材を使用する場合は、ガセットシート 12 の内面に固着するのではなく、ガセットシート 12 の外面に固着したり、ガセットシート 12 自体に挟み込んだりする構成を採用することも可能である。

【0028】また、上述した実施形態では、袋本体 10 を構成している外装シート 11 及びガセットシート 12 が横方向に易破断性を有しているため、袋本体 10 の上部両側縁に破断用の切込 10a を形成しているが、外装

シート 11 及びガセットシート 12 が易破断性を有していない場合は、袋本体 10 に破断用の切込 10a を形成することなく、はさみ等を用いて袋本体 10 を開封させるようにしてもよい。

【0029】また、上述した実施形態では、袋本体 10 に形状保持部材 20 を熱溶着する場合について説明したが、これに限定されるものではなく、形状保持部材 20 を袋本体 10 に接着剤等によって接着するものであってもよい。

【図面の簡単な説明】

【図 1】（a）はこの発明にかかるパウチ容器の一実施形態を示す斜視図、（b）は同上のパウチ容器の使用状態を示す斜視図である。

【図 2】（a）は同上のパウチ容器を扁平に折り畳んだ状態を示す平面図、（b）は同上のパウチ容器における一方の外装シートを取り除いた状態を示す平面図である。

【図 3】（a）は同上のパウチ容器に使用されている形状保持部材の開いた状態を示す平面図、（b）は同上の形状保持部材を示す側面図である。

【図 4】（a）は同上のパウチ容器に使用されている形状保持部材の閉じた状態を示す平面図、（b）は同上の形状保持部材を示す側面図である。

【図 5】（a）は同上のパウチ容器に使用されている形状保持部材が 90 度閉じた状態を示す部分拡大平面図、（b）は同上の形状保持部材を示す部分拡大側面図である。

【図 6】（a）は同上のパウチ容器に使用されている形状保持部材の閉じた状態を示す部分拡大平面図、（b）は同上の形状保持部材を示す部分拡大側面図である。

【図 7】（a）は同上のパウチ容器に使用されている形状保持部材の開いた状態を示す部分拡大平面図、（b）は同上の形状保持部材を示す部分拡大側面図である。

【図 8】（a）は同上のパウチ容器の口部を開口した状態を示す図、（b）は同上のパウチ容器の口部を閉塞した状態を示す図である。

【図 9】従来のパウチ容器の一実施形態を示す斜視図である。

【図 10】同上のパウチ容器の開封過程を示す斜視図である。

【図 11】同上のパウチ容器の使用状態を示す斜視図である。

【符号の説明】

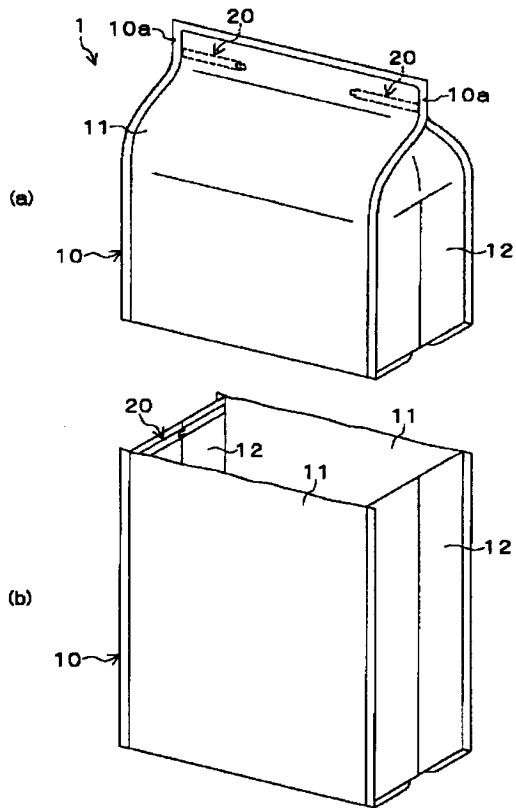
- 1 パウチ容器
- 10 袋本体
- 10a 切込
- 11 外装シート
- 12 ガセットシート
- 20 形状保持部材
- 21、23 樹脂フレーム

22 張出片
 22a 突起 (保持機構)
 24 凹部

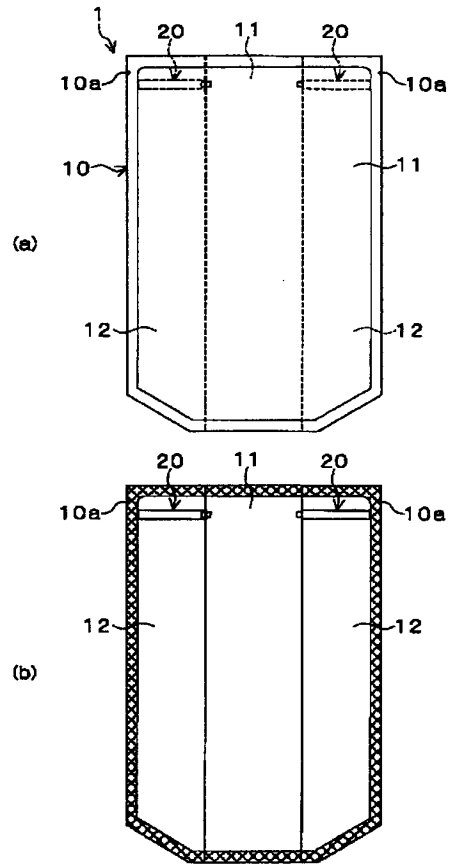
* 24a 窪み部 (保持機構)
 25 樹脂ヒンジ

*

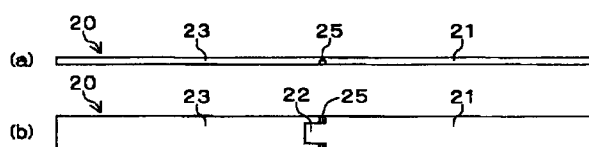
【図 1】



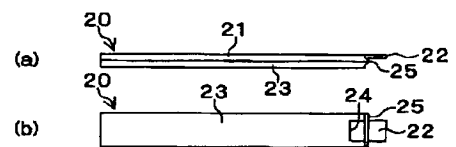
【図 2】



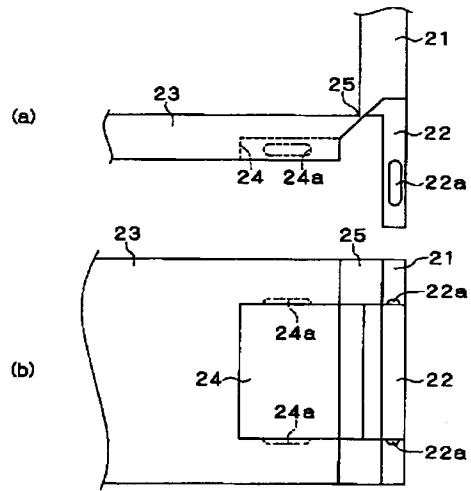
【図 3】



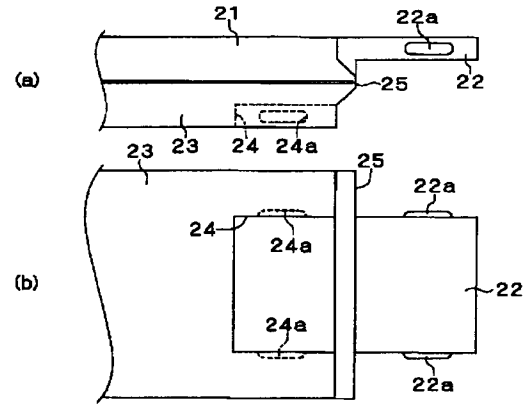
【図 4】



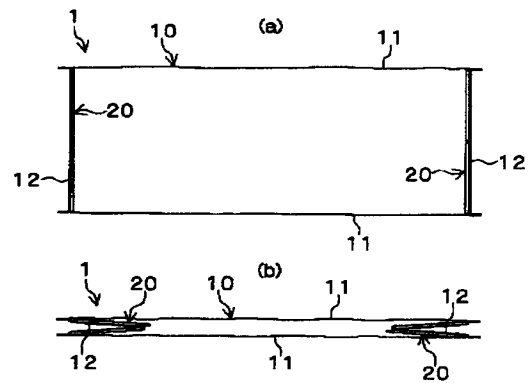
【図5】



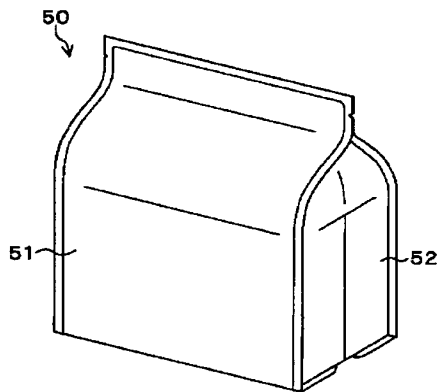
【図6】



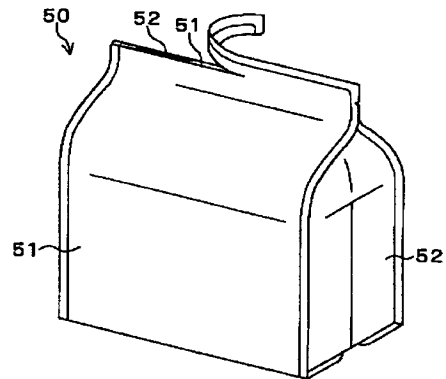
【図8】



【図9】



【図10】



(7)

特開2003-128083

【図11】

